

- ☐生活支援☒見守り☐協議体
- ☒買物支援☐配達☐その他
- ☒移動支援☒居場所づくり

19 地域の未来のため、私たちがはじめたこと（上甕 中野自治会）

薩摩川内市 高齢・介護福祉課

地域の概要



薩摩川内市の西約30kmに位置する甕島。令和2年に上甕と下甕をつなぐ甕大橋が開通し、甕は一つになりました。
上甕島は、人口2,000人で減少し続けており、高齢者率56%、島民同士で支え合う地域。



取組のきっかけ

薩摩川内市では「まるごとささえ愛事業」で、生活支援コーディネーターと支え合い推進員が「いつまでも自分たちの町で生きがいを持って安心して暮らせるまち」を目指して、地域の困りごとやあったらいいなといった思いを皆さんと一緒に考え取り組んでいる。
地域支え合い推進員が、サロン訪問をしたとき、「買い物に便利なバスがあったらいいな」といった声を聞き、買い物など移動の不便があることを知った。

取組の目的

- 買い物が困難な方への支援
- 新たな集いの場
- 担い手の役割づくり
- 高齢者クラブの活性化

これまでの経緯



年・月	出来事
令和4年4月19日	支え合い推進員が上甕地区での地域取材時に「日常生活での困りごと」について調査。「バスでの買い物などの移動について困っている」という声が多く聞かれた
令和4年4月19日	支え合い推進員が、中野地区のふれあいサロンを訪問した際にも、買い物の移動についての困りごとをきく
令和4年6月1日	上甕高齢者クラブ会長会（参加者：各高齢者クラブ会長5名、社協3名） 内容：推進員が聞いた地域の困りごとを紹介（買い物支援、入退院時の島内送迎） 結果：中野長寿会の会長から、買い物支援に取り組みたい意向があった
令和4年6月13日	第1回ドライブサロン実行委員会 役割分担、費用、声掛けについて決定、お試し日7月1日・8日
令和4年7月1日 令和4年7月8日	お試しドライブサロン1回目、2回目（両日利用者6名）
令和4年7月11日	第2回ドライブサロン実行委員会 お試し時のアンケートをふまえてドライブサロンの実施が決定
令和4年7月23日	中野役員会（ドライブサロンの実施の説明）
令和4年8月6日	中野ドライブサロン開始

活動の概要

ドライブサロンのスタート
車は、社会福祉協議会の車両貸し出し事業を利用し、ドライバーは2人で交代制。第1・3土曜日9時から11時に自治会の広場に集合し、島唯一のスーパーまで連れていきます。
買い物を楽しまれ、帰りは荷物がいっぱい。
当初、利用料は無料でしたが、令和5年度から200円の利用料とし、運行をしている。令和4年度実績は延べ回数16回、延べ利用者120名、利用平均7.5名



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- SCや支え合い推進員との定期的な情報共有
- 薩摩川内市でつながり発表会にての発表。事例の見える化・見せる化

〔SCとしての役割〕

- サロン訪問による聞き取り調査の実施
- 困りごと把握した後、高齢者クラブと課題共有
- 中野自治会と課題解決に向けて話し合いの場に寄り添う
- 事例発表にて活動の周知



現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 買い物困難者の買い物支援となった。
- 皆と会って一緒に買い物に行く集いの場となった。
- 外出の楽しみとなり、交流により笑顔が増え、生きがいになっている。
- 着ていく服を考え、情報交換の場となり、刺激のある日常となり介護予防に。

〔課題〕

- 買い物だけではなく移送支援についても検討している（銀行や病院など）
- 現在月2回土曜のみの運行だが、平日の運行についても検討